

子育ては園と家庭との連携で

幼稚園の願いと家庭の願いは同じ

保護者が我が子に願うことも、幼稚園が願うことも「子どもたちが、健康で心豊かに育ち、友だちと仲良く遊び、感性豊かな人間になってほしい」ということではないでしょうか。

子育ては楽しいものです。

しかし、うまくいかないことがあると、時には心身共に疲れてしまうこともあります。そんな時は、子どもを中心に考え、子どもの発達を良く知っている幼稚園の先生に相談をしてみましょう。家庭での様子を伝えたり、幼稚園での子どもの生活や遊びを見たりしてい

く中に、問題の解決の糸口が見つかることもあります。家庭と幼稚園がお互いに理解と信頼を深めながら、子どもの成長を見守っていくことが大切です。

それぞれの役割

幼児期の教育は、大きく分けて、家庭と幼稚園で行われますが、幼稚園と家庭とは環境や人間関係の有様に応じて、それぞれの果たす役割が異なります。

家庭は愛情としつけを通して、幼児期の成長でもっとも基礎となる心の基盤を形成する場です。

- ・早寝早起きと十分な睡眠
- ・規則正しく、豊かで楽しい食事
- ・しっかり身体を動かす生活
- ・しっかり手を使う生活

以上の四点を考え、子どもの生活の基盤を整えてあげましょう。

幼稚園は、親しい人間関係で営まれてきた家庭という場から、より広い世界に目を向け始めた幼児が家庭ではできない体験をする中で、文化にふれ先生に支えられながら幼児期なりの世界の豊かさに初めて出会う場です。そのため、初めての集団生活で自分をうまく表現できず、泣き叫んだり、自分勝手な振る舞いをしたり、ルールが守れずけんかになることもありますし、食事や排泄が一人でできず失敗することもあるでしょう。そんなときは、幼稚園ではできるだけ保護者の方に状況をお伝えし、家庭の協力を得ながら、子どもたちが先生の力を借りながらも自立できるように育てていきます。幼稚園生活を安心して過ごすことができる生活の場とするためには、時間がかかることもありますので、保護者の方と先生とが一緒に育てていく気持ちをもってください。

公益社団法人 横浜市幼稚園協会とは

明治4年に横浜市中区山手に幼児教育施設が誕生しました。それから今日までの間に多数の幼稚園が横浜市内に新設されました。

横浜市の幼稚園の特徴は、すべてが私立であり、それぞれが特色ある建学の精神をもって教育を行っていることです。言いかえれば横浜に住む幼児の教育は私立幼稚園に任されているということです。その任務の重さを思い、横浜の幼児の幸せを願って、昭和36年、市内の幼稚園が自主的に設立したのが「横浜市幼稚園協会」です。現在253園が加盟し、長年にわたって、より一層、幼稚園教育の質の向上をはかるべく活動を行っています。

幼稚園大会



横浜の子どもたちが健やかに成長することを願い、加盟園の教職員と父母が一堂となり、思いを一つにする大会です。

その他

- ◆園長・設置者研修会 ◆教員研修会 ◆教育研究大会
- ◆特別研究委員会 ◆保育力キャリアアップ研究講座
- ◆カウンセリングマインド研究講座 ◆教員免許状更新講習
- ◆幼稚園・保育園・小学校の連携をはかる研修会
- ◆新規採用教員研修会 ◆父母セミナー

子育て教育相談

協会では、保護者の皆様方の子育てに関する相談を臨床心理士が電話でお受けしています。

【相談日】 毎週火曜日と金曜日（年末年始、祝祭日を除く）

【受付時間】 10:00~12:00 / 13:00~15:00

相談専用ダイヤル ☎045-534-8837

公益社団法人 横浜市幼稚園協会

令和4年度版

幼稚園・認定こども園



楽しい行事が
いっぱい。



遊びから
学ぶ



令和4年度 入園の対象児

- 満3歳保育
3歳の誕生日を迎えたお子さん
- 3歳保育
平成30年4月2日~平成31年4月1日生まれ
- 2歳保育
平成29年4月2日~平成30年4月1日生まれ

入園見学会・説明会

- 入園に向けて各園で入園説明会を行います。
- それぞれの園で時期や方法が違います。
- 園見学会は随時行っている園もあります。
- 詳しくは、園にお問い合わせください。

入園手続き

- 入園願書配布 / 10月15日より
- 入園願書受付 / 11月1日より

各園で行います。



横浜市幼稚園協会のホームページ

<https://kids-yokohama.or.jp/>

神奈川県子ども・子育て総合情報サイト

<https://c.rakuraku.or.jp/>

横浜市（幼稚園関連）のホームページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/hoiku-yoji/yochien/>

公益社団法人 横浜市幼稚園協会

幼稚園・認定こども園とは どんなところ？

楽しい遊びがいっぱい！

初めての集団生活 子どもが初めて家庭から外に出て、集団生活をする場、それが幼稚園です。幼稚園は、満三歳から小学校入学までの子どもたちが教育を受けます。そこには当然ルールもありますが、おもちゃなどを介してお友だちとのぶつかり合いやケンカなども起こります。しかし、家庭だけでは味わうことのできない、魅力的な体験も沢山できます。幼稚園は小学校以降、生涯にわたる社会性・人間形成の基礎を培うための大切な教育の場なのです。

遊びから学ぶ 幼稚園での生活の中心は遊びです。同年齢や異年齢との遊びを通して友だち関係を育てたり、物事に興味をもたせたりすることで、社会性や自主性など子どもの成長にとって大切な能力や資質を身に付けます。また、幼稚園の指導内容は子どもたちが楽しく活動しながら、無理なくより良い成長・発達を促すように組み立てられ、先生は一人ひとりの子どもに対応できる柔軟な指導案(カリキュラム)を作成しています。

出会いの場 子どもの個性はそれぞれに違ってきます。一人ひとりの個性を尊重し、伸ばすことができるように、先生は個々の子どもの個性を把握し、見守ったり支援したりしながら適切な指導を行っていきます。そのためには、ご家庭との連携も大切になります。お子さんの成長を共に喜び合い、適切な時期に次のステップに踏み出せるよう伝え合ひましょう。そして、広い視野と温かい目で見守りながら、子どもたちの成長を育んでいきましょう。

適切な指導のために 子どもたちは、新しい園生活の場で保護者以外の信頼できる大人としての先生との出会い、多くの友だちとの出会い、大好きな遊びや絵本との出会いなど、たくさんの体験をします。また、同時に保護者の方も園での様々な活動や人とのふれあいの中で、学びあったり、自分の子育てを振り返ってみたりすることができます。地域とのつながりを深め、我が子だけでなく大勢の子どもたちを見守るネットワークづくりに参加してみませんか。

幼稚園・保育所等を利用する3～5歳児クラス等の 子どもの利用料は、「幼児教育・保育の無償化」の対象です。

- 幼稚園
 - 認定こども園
 - 認可保育所等
- ◆3歳児クラスから5歳児クラスの全ての子ども利用料が無償化
 - ◆0歳児クラスから2歳児クラスの子どもは、市民税非課税世帯が無償化
 - 私学助成幼稚園については、月額25,700円まで無償となります。
 - 無償化の期間は、満3歳になった後の4月1日から小学校就学前までの3年間です。幼稚園・認定こども園の教育部分については、満3歳から無償化の対象となります。
 - 利用料のほかに給食費がある場合、年収360万円未満相当世帯の子どもと第3子(※)の子どもについては、副食費(おかず、おやつ等の費用)の免除または一部補助が受けられます。
- ※幼稚園・認定こども園(教育利用)は小学校3年生、認可保育所・認定こども園(保育利用)は就学前児童から数えて第3子以降の子ども

- 幼稚園の預かり保育
- ◆保育の必要性を認定された、3歳児クラスから5歳児クラスまでの子ども利用料が、月額11,300円まで無償化(※)
 - 利用日数に応じて1日あたり450円、月額11,300円を上限に無償化
 - 満3歳(3歳になった日から次の3月31日まで)の市民税非課税世帯は、月額16,300円まで無償化
- ※横浜市私立幼稚園等預かり保育事業(横浜型預かり保育)の利用料は、3歳児クラスから5歳児クラスまでは無料、満3歳児は0円～9,000円です。



検索キーワード
「横浜市」「無償化」

詳しくはこちらをご覧ください 無償化について

	私学助成園	施設型給付園		
施設のタイプ	幼稚園	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園
対象年齢	3歳～就学前(園によっては満3歳から)			
				0歳～就学前

※各園の設定する、教材費、施設整備費、通園バス費、給食費等を別途ご負担いただく場合がありますので、詳細は必ず各園におたずねください。

3歳児



人とのつながり感を…

子どもは三歳になると自分以外の存在に興味を持つようになり、外の世界に目が向きます。そういった時期に集団生活をするのは、とても大切なことです。幼稚園で友だちと遊びながら積んでゆくさまざまな体験は、将来、社会生活を営む上での基礎となります。

しかし、入園当初は友だちとおもちゃの取り合いをしたり、順番を守れなくてけんかをしたりしてしまったりします。家庭では基本的に「一人遊び」をしていますから、「待つ」「替わる」「譲る」といったことをまだよく知らないのです。幼稚園でのお友達との関わりは、子どもたちにとって未知の領域です。そこで、幼稚園でたくさんのお友だちと遊びながら、人とかかわり方を学び、集団生活のルールを身につけていくことが必要なのです。

幼稚園に入っても、最初は一人で遊ぶこともまだあるかもしれません。が、やがて気の合うお友だちもでき、「お友だちっていいな」、「一緒にいると楽しい」といった感情が芽生え、人とのつながりの基礎ができあがっていくのです。このような変化は、三歳児の最も顕著な特徴である自己中心性が影を潜め、協調性が芽生えてくる過程と言えます。

遊びの中から育っていく「人とのつながり」は、この時期にぜひとも体験させたいです。学ぶ力や慣れる力が旺盛な三歳児、幼稚園ではそのような経験がたくさんできるような環境の整備を心がけています。

4歳児



集団生活の中で

友だちとかかわりが持てるようになると、気の合う友だちとの行動が多くなってきます。しかし関係が深まると、かえって意見の違いによるぶつかり合いや、もめごとが起こるものです。が、やがては一緒に力を合わせて、いろいろなことに取り組めるようになります。例えば、砂場で大きな山を作るときに、穴を掘る子、固める子など、お互いに役割を分担したり、友だちと協力して遊びを広げたり深めたりしていきます。

仲良しの友だちとの関係だけでなく、グループで遊ぶ場面が多く見られるようになると、それぞれが協力しながら楽しい活動が展開されます。そして楽しい体験だけではなく失敗やもめごとを通して、遊びのルールを作りだしていくような力もついてきます。

子どもは遊びを通して多くの仲間と出会い、様々なかかわり合いを体験することで、豊かな心身の成長を得ることができるのです。

多くの経験を通して、自分の思い通りにならないことがあることも学びながら、みんなで協力し合うこと、順番を待つこと、譲ることなどの大切さを知り、社会性を身につけていきます。

したがって幼稚園での集団生活の体験は、子どもが成長していく上で大きな糧となるのです。実体験を通して自ら「お互いが楽しく過ごすには自分がどうしたら良いか」を知る大切な時期と言えます。

幼稚園での一日

子どもたちは幼稚園で様々な経験を積み、成長していきます。時間帯、保育内容は幼稚園によって様々です。

登園



先生おはようございます♪

9:00

朝の会



みんなのうたで始まります。

絵本
紙芝居



どんなお話かな？

絵画
制作



なにつくろう♪ なにかこう♪

室内遊び



しゅっぱつしんこう!!

外遊び



園庭は
ワクワクが
いっぱい。

手洗
うがい



きれいに
しなкゃ。

応急処置



ばい菌が
入らないようにね。

12:00

お弁当
給食



待ちに待ったお昼ご飯。
みんな揃って
「いただきます!」

お誕生会



みんなに
お祝いで
もらえるね。

避難訓練



定期的
に行います。

帰りの会



楽しかったね。
明日はなにを
しようかな？

降園

先生
さようなら。

14:00

5歳児

最年長としての自覚を…

年長組になり、社会性が身についてくるにつれ、徐々に複雑な遊びに興味が出てくるようになり、砂遊びやおままごと、かくれんぼなどから、ドロケイやドッジボールなど、細かなルールのある遊びに取り組むようになります。また、仲間意識が深まり、一日だけで終了しなかった製作やおまじないは、「明日また続きをしよう!」などと声を掛け合いながら、自分たちなりに考え工夫する姿も見られます。

遊びの中で、一人ひとりが自分の意思を伝えたり、友だちの意見を聞いて受け入れたりするという体験を通して、いろいろな考え方や気持ちがあることに気がきます。自他の思いの違いに葛藤を重ねていくことで、徐々に集団の中で折り合いをつけられるようになり、遅しきも少しずつ身についてきます。こうして、集団で過ごす時にはどうしていくべきかを、自分なりに考えられるようになっていきます。

また、年長組になると、園で最も年上の存在という自覚が生まれ、年少組、年中組の子どもたちに対して、優しく気遣う様子が見られるようになります。リーダーシップを取るという意識が芽生え始めるのも、この頃からです。

友だちや先生と過ごした2年・3年で、楽しみ、喜び、頑張りや思いやり、時には辛いことや悔しいことなど、様々な体験を経て、年長児は身体も心も大きく成長し、慣れ親しんだ幼稚園を巣立っていきます。



横浜市においては、働く方々の支援のために通常の保育時間を除いた7:30～18:30までお子さんを無償でお預かりする制度があります。

詳しくはこちら ▶ わくわく!はまタイム!



横浜型預かり保育

7:30 → 9:00 → 14:00 → 18:30

登園

あずかり保育

幼稚園の活動

あずかり保育

降園

横浜型を行わない園でも、独自の預かり保育を行っている場合があります。詳細については各園にお問い合わせください。



Q 3年保育にするか 2年保育にするか迷っています

A 幼稚園に年少から入るか、年中から入るかは、お子さんの発達段階や性格、ご家庭の実情などによって異なりますので、一概にどちらが良いとは言えません。三年保育で集団に早く慣れることも、二年保育でじっくりと親子で過ごすことも、どちらも良いと思います。ご自分のお子さんにどちらが合っているかと迷われているならば、公園などに遊びに行った時にお子さんが何を見て、何を楽しんでいるかを知ることが目安になるかもしれません。どんどん周囲の友だちに働きかけていく子、友だちのしていることをじっと見ている子、自分のやりたいことにじっくりと取り組む子など色々な姿が見られることでしょ

う。どの姿も三歳としては望ましい姿です。その中で、周囲の友だちに興味をもつのは、刺激を求めているということでもあり、集団生活への準備もできていると考えられます。

近年は、三年保育を希望する保護者の方が以前よりも増えており、二年保育にすると近所で遊ぶ友だちが少ないというお話も聞かれます。安心してご自分のお子さんに合った方を選んでいただけたらと思います。

まり周囲に惑わされ過ぎず、保護者の方が決断することが大切です。入園をお考えの幼稚園に見学に行き、お子さんの様子を見たり、先生に相談されたりすることも良いのではないのでしょうか。

幼稚園での成長を見ると、二年保育・三年保育どちらも、年長になる頃には差もほとんど見られません。安心してご自分のお子さんに合った方を選んでいただけたらと思います。



Q 友だちと仲良くできるか 心配です



A 幼稚園は、それぞれ異なった家庭環境で育ち、性格も違う同一年齢の子どもがたくさん集まって過ごす集団の場です。そこには当然、集団生活を送るために必要なルールが生まれてきます。

友だちとのかわりにおいて、自分の思いを十分に発揮して、ぶつかり合いながらも他者を理解しようとする時期でもあります。

しかし、集団生活に入ったばかりの子どもたちは、まだまだ「自分だけ」という考えが強く、友だちと上手に遊ぶことができない子どももよく見られます。

友だちを独占したい気持ちが強いために他の友だちを受け入れられない子、おもちゃの貸し借りができずに強引にとってしまう子、順番が守れずに遊具を独り占めしてしまう子、言葉がうまく言えずに顔や手をつかんで意思表示

をする子、なかには、一緒に遊びたいのに「遊ぼう」と言えずに中に入れない子もいます。

先生は、個々の子どもたちの様子をよく観察しながら、時を逃さずに声をかけます。そして、当事者同士の話をよく聞き、お互いが納得するまで根気強く指導していきます。ときには、どうしたら友だちと楽しく仲良く遊べるか、子どもたちに問いかけることもあります。

このようなもめごとの原因は、人とのつき合い方が分からず起きる一時的なものです。また、

このような場面に出会うと「いじめられた」と泣いて訴えてくることもあります。それは社会性が身につく過程の一場面であり、いわゆる「いじめ」とは質が全く異なるものです。

子どもたちは、集団生活に馴染んでいくうちに、良いことや悪いことの判断が身につくようになります。また、相手の気持ちを理解し、思いやる気持ちも芽生えてきます。そんな子どもの成長過程を、おおらかな気持ちで見守ってください。

Q 食物アレルギーがあり 食事の時間が心配です



A 食物アレルギーのあるお子さんをお持ちの方にとって心配なのは、園での食事ですね。幼稚園によっては給食の園、持参弁当の園と様々です。他にもお預かり時のおやつや、園によっては食育の一環からクッキング活動を行うなど、実際に食べ物に口にする機会があります。

給食の園の場合、お子さんの該当するアレルギー食品について、どの程度の配慮をお願いできるかの確認が必要です。お子さんによって、配慮の程度も様々なので、具体的に園にお伝えください。

お弁当と給食、どちらの形態でも注意が必要なのが、そのアレルギー食品に、触れるだけで反応が

でるお子さんのケースです。本人が食べる分からアレルギー食品が除去されていても、周りの友だちの手や口を介して接触する可能性があります。食事の際の席の配置や、担任に近くに座ってもらうなど、担任と密に連絡を取り、具体的な対応を相談すると安心ですね。

園での食事は、集団で食べる事により、楽しい雰囲気を感じ、友だちの食事の様子から苦手な物

も食べてみようという意欲につながるなど、家庭とはまた違う環境があります。どちらの良さも、お子さんの成長に必要な食環境です。アレルギーの有る無しに関わらず、楽しんで意欲的に食事ができるようにしたいですね。先生たちもお家の方の不安を受け止め、楽しく食事ができるよう日々、気を付けて保育にあたっています。心配な点はどうぞ、ご相談ください。



親子で作って遊ぼう!



用意するもの
牛乳パック・ストロー
ハサミ・ホチキス

『牛乳パックで紙トンボ』

- 1 牛乳パックの一面を切り、さらに注ぎ口の部分も切ります。
- 2 2cm幅で①を切ります。
- 3 ②を図のように半分に折ります。
- 4 ストローを15cmの長さに切ります。
※曲がるストローは曲がる箇所より下の部分を使います。
- 5 ストローに切り込みを入れます。
- 6 ストローに羽根を差し込み、ホチキスで留めます。
羽根を斜めに折って開き完成です。

用意するもの

ポリ袋・タコ糸・トイレットペーパーの芯
セロハンテープ・はさみ

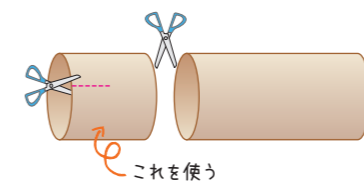
『パラシュートを作ろう』

- 1 袋を開く
- 2 正方形に切る
- 3 三角形に折っていき、最後に、線のところをはさみで切る
- 4 直径と同じ長さのタコ糸をポリ袋の角に貼り付ける
- 5 張ったタコ糸は、端を集めてかた結びにする

One Point!

ポリ袋やトイレットペーパーの芯に絵を描いたり色を塗ったりして楽しみましょう。ポリ袋に色をつけるときは、油性のペンがいいです。

- 6 トイレットペーパーの芯の1/3の所を切り取るそこから、中心まで切込みを入れる



これを使う

- 7 かた結びにしたタコ糸を、切り込みに入れ、セロハンテープでとめたら出来上がり

